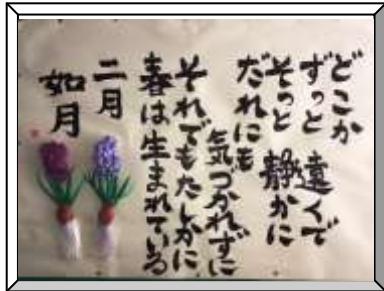


明日も元氣で来いよ！



2月、如月（きさらぎ）を迎える。このところ、厳しい冷え込みが続いているので、春のあたたかな日差しが待ち遠しいです。

2月の玄関掲示は、ヒヤシンス

さて、左は、2月の玄関掲示です。今月の素材は、ヒヤシンスです。ちょうど、1年生が、教室で水栽培をしています。気の早いものは、

そろそろ咲き始めています。

ヒヤシンスは、球根多年草で、地中海が原産です。日本には、江戸末期にフランスからチューリップの球根と一緒に渡來したそうです。

（参照：金子兜太 監修 誠文堂新光社 「美しい季語の花」）

多目的室前に掲示した日から、「校長先生、今月の問題は何ですか？」と聞こく来る子がいます。また、クイズを予想して、「あの花は、ヒヤシンスです」と、答えに来る子もいます。6年生のNさんは、ノートに花言葉やその由来などをまとめてくれました。このような、子どもたちの素直な反応が、たいへんうれしいです。

ということで、クイズを出題します。（本当は、月曜の朝会で話すつもりでした）

ヒヤシンスを漢字で書くとどのように書くでしょう。ヒント「漢字三文字」

先日、1年い組と2組で、ギターを弾いて、子どもたちと一緒に歌いました。いろいろな動物が登場する歌では、動物になって踊り出す子がいました。また、歌詞に合わせて体を動かす子もいました。子どもたちが気持ちよく歌ってくれるので、私もとても楽しく、気持ちよく過ごせました。

名犬チロリ・アイコンタクト

セラピードックの「チロリ」に関する図書（2学期から子どもたちに回覧しています）を寄贈してくださった山内信子様から、DVD「愛と涙の感動の実話 アイコンタクト チロリ物語」（NPO法人 動物と人の愛の絆促進協会 制作）が届きました。これは、図書の内容を実際の映像や写真でえがいた作品です。図書の内容については、明日も元氣で・・・10号、11号、12号をご覧ください。DVDをみた子どもの感想（たくましく…）の一部を紹介します。

◆…すごく感動しました。本も読んで泣きそうになったけど、動画でもまた泣きそうになってしまいました。私は大木さんをそんけいします。お仕事もいそがしいのに、チロリやセラピードッグたちを大事に育ててすごいと思います。チロリもそんけいします。ぎやくたいをうけて、子どもがいなくなって殺されかけても、まっすぐですばらしいと思います。殺しょぶんが起きるのも、人が犬や猫を大事にしないからです。犬や猫は何も悪くないので、人が悪いので、大事にしなかった人は深く反省してほしいです。私も家にいるニコとコマを大事に、愛情をこめて育てていきたいです。・・・（Yさん）

◆僕はとても感動しました。特に、捨てられて家族ともバラバラになって、動物愛護センターでの殺処分という「死の恐怖」も乗りこえてセラピードックになるチロリの強い心に感動しました。・・・殺処分というけがらわしい行いも知りました。僕の家は、犬を飼えないけど、犬の命を救う大木さんと、人の命を救うチロリの気持ちを僕は学びました。（Kくん）

犬や猫の死因で最も多いのは、病気や老衰、交通事故でなく、殺処分だそうです。年間30万頭以上の犬や猫が殺処分されています。（チロリとブルースマンの約束上之二郎著 集英社）チロリの物語は、人への「思いやり」や「優しさ」だけでなく、「すべての生き物の命の重み」についても教えてくれています。